



## ★たんぼぼ掲示板★

- ・毎週金曜日に行われていた調理クラブですが、感染症予防のため2月からは毎週月曜日に変わります。
- ・クラブハウスの名前がワンズハートクラブハウスに変わりました。



## 委託先のご紹介

たんぼぼクッキー委託先第5回目は・・・  
丸亀市にありますブブカーネさんです。  
料理も内装もとてもおしゃれ!!可愛い雑貨、アクセサリも販売されています。  
テーブル席、カウンター席、ソファ席の全56席があり、席によって雰囲気が変わります。  
内装や照明も少しずつ違っており、料理を待つ時間もゆっくりと眺めながら楽しめます。  
可愛いワンちゃんもおり、ワンちゃん同伴(条件付き)でお食事することも可能です。  
メニューも美味しいものばかり。ぜひ一度、お立ち寄りください。  
詳しくはブブカーネ様のホームページをご覧ください。



**営業時間** 平日 11:30～15:30

17:30～24:00

土日祝日 11:30～24:00

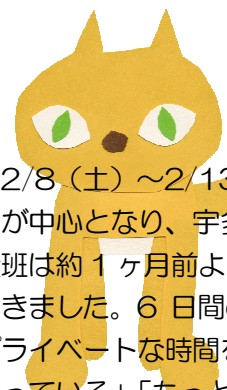
**定休日** 水曜日

**場所** 丸亀市田村町 1766-10

**TEL** 0877-24-0723

**HPURL** <http://bubucane.com/>

**Email** [bubucane@yahoo.co.jp](mailto:bubucane@yahoo.co.jp)



うたづええもん市 参加

主任 小西 靖代

2/8(土)～2/13(木)「こめっせうたづ」にて開催されました。工賃向上の一環として、社会就労センターが中心となり、宇多津町の協力のもと開催されました。たんぼぼからもクッキーや雑貨を出品しました。製造班は約1ヶ月前よりミーティングを重ね、商品の選定、出品個数、価格等きちんと計画を立てて作業を行ってきました。6日間の委託販売となるため、売れ行きが気になるころではありましたが、メンバーは個々のプライベートな時間を使って様子を見に行ったようです。作業中は、「クッキーが減っていた」「雑貨も少なくなっている」「もっと作ればよかった」「他の事業所の商品を買ってみた」等様々な情報交換を行いました。最終日には搬入した商品のほとんどが売れていました。この1か月間クッキー製造を行いながらの作品作りは製造班にとって忙しく負担もあったと思いますが、一つひとつ手をかけて作った商品を沢山の方たちに見ていただき、そして売り上げに繋がったことは、メンバーにとってやりがいもあったと思います。様々な環境の中で販売するとによって、得られるものの切さを日々考え今後も様々な場所へ出向いていきたいと思っています。



## 編集後記

今年は、香川では珍しく積雪が何日かありました。雪の日は来所者が普段より少なくなるのですが、たんぼぼではいつもどおり販売、製造が行われました。雪が降った次の日、駄菓子屋前に手袋をした雪だるまが現れ、お客さんの目を楽しませているようでした。雪だけではなく、季節や気候を楽しめる多持ちのゆとりを大切に、今年も一年頑張ろうと思います!!

# Life

第49号 2014. 2. 20発行  
特定非営利活動法人SA、A  
就労継続支援B型事業所 たんぼぼ  
〒763-0066  
丸亀市天満町1-2-31  
TEL: 0877-22-2840  
HP <http://nposaja>



## 虐待防止と権利擁護施設内職員研修会

所長 村井 誓子

1月の事業所内職員研修会は、「虐待防止と権利擁護」と題して理事長より講義がありました。大枠は障害者虐待防止法、障害者虐待の具体例、権利擁護としての虐待防止、精神障害者の保護とケア改善のための諸原則、福祉施設における虐待防止のための取り組みについてでした。

障害者虐待防止法については対象の定義の確認、虐待の種類（これには「自覚」は問われません）、起こる場所として家庭・福祉施設・職場等（医療と教育現場は明確に位置づけられていません）、虐待を行うものとしては養護者、障害者福祉施設従事者、使用者です。虐待への対応として国民の義務としての市町村や都道府県への通報が定められ、行政機関は市町村虐待防止センター及び都道府県権利擁護センターを設置し家庭内への立ち入り調査や指導、実態公表をおこなうことができるとされています。

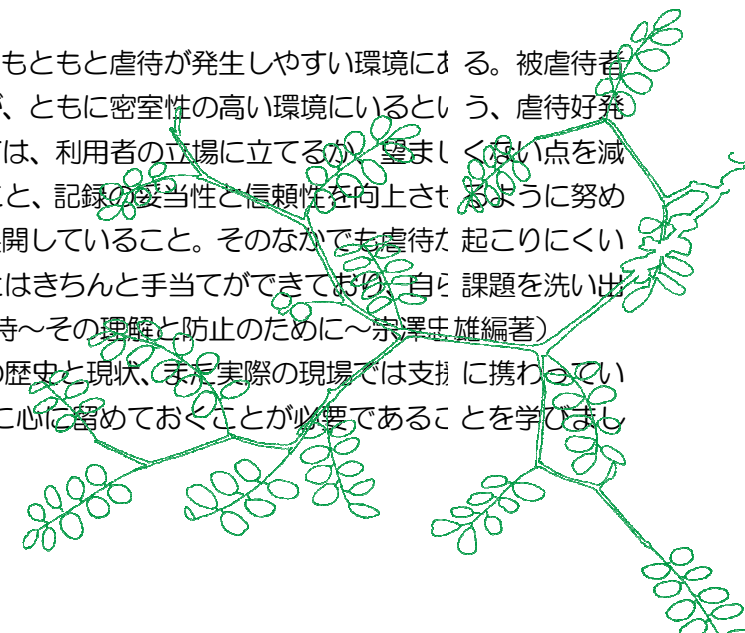
権利擁護としての虐待防止では、そもそも権利擁護とは何なのかを含めて、障害者の権利宣言(1975年)、国際障害者年(1981年)『完全参加と平等』の国際的な視点を確認しました。特に1991年に国連総会第3委員会公表された『精神障害を有する者の保護及びメンタルヘルスケアの改善のための諸原則』を読み合わせすることにより、私たちを取り巻く現行法やシステムそのもの、また支援としておこなっていることのなかにも国際的には評価されないことが多々あるということの確認をおこないました。

虐待の区分としては身体的、性的、心理的、放棄・放置、経済的虐待がありますが、これらの具体例を確認しますと私達が通常虐待だとは思っていないことも度を越すと虐待にあたるということが理解できました。精神障害のある人が受けている虐待として多いのは、心理的虐待、経済的虐待だという調査結果があります。

事業所内での虐待防止の取り組みとしては外部講師による定期的な職員研修、利用者との合同研修、マニュアルの整備・点検、職員と利用者による第三者監視システムの導入等があり、来年度以降の事業所内研修での取り組みが必要です。

「従事者の活動の場は、施設であれ在宅であれ、もともと虐待が発生しやすい環境にある。被虐待者の条件を備えたものと、虐待者の条件を備えた者が、ともに密室性の高い環境にいるという、虐待好発の構図が成立しやすい。虐待発生リスクに対しては、利用者の立場に立てるか、望ましくない点を減じ望ましい点を伸ばすという視点が備わっていること、記録の妥当性と信頼性を向上させるように努めていること、実践と教育と研究が三位一体として展開していること。そのなかでも虐待が起こりにくい事業所は目立たず小さなことであっても必要なことはきちんと手当てができており、自ら課題を洗い出してその解決に真摯に取り組んでいる」(障害者虐待～その理解と防止のために～赤澤忠雄編著)

今回の研修では国際的に検証した場合のこの国の歴史と現状、また実際の現場では支援に携わっている者の側に圧倒的な優位性が生じやすい事実を常に心に留めておくことが必要であることを学びました。





## 活動報告

### 販売班にインタビュー

Q、あなたの最も得意な(あるいは好きな)作業、その理由は？

- ・野菜の仕入れ。新鮮さや質の良さとか、野菜を比べたりして勉強になるから。
- ・店舗のレジ。緊張するけど、好き。海外のお客さんが来られた時には英語でお見送りまでできて、特に嬉しかった。
- ・野菜販売。自分の声掛けでお客さんが商品を見て、購入されたらやりがいを感じる。
- ・野菜の仕分け。何となく、雰囲気が好き。

Q、作業中、気をつけていることはありますか？

- ・店舗レジ。数字を間違えないように、ゆっくり正確に打つこと。お客さんに対する言葉遣い。接客は本を買ったため勉強中。
- ・野菜販売。商品のセールスポイントを知って、お客さんに伝えること。
- ・野菜仕分け。傷んでいる野菜がないか、確かめること。
- ・焼き芋販売。「いかがですか」「焼き立てですよ」等、声掛けのレパートリーを増やすこと。

Q、今後、こうなりたいというイメージはありますか？

- ・POPO。先は分らないけど、お店が育って行ってほしい。
- ・野菜販売。どんどん売れば良い。
- ・本当は内職がしたい。
- ・給料が上がってほしい。



### 製造班にインタビュー

Q、クッキー作りにおいて、こだわっている点は？

- ・味、見た目、大人から子供まで完全に食べられる商品づくり。
- ・口に入るものなので手や調理器具の消毒など、衛生に気をつけて作っている。

Q、雑貨作りにおいて、こだわっている点は？

- ・親子で遊べる、学べるような商品を考えること。
- ・初めは、どんな物を作ればいいのか悩んだけど、製造班の皆で思慮してつくっている。
- ・小さな子どもが手に取る商品だから、安全で危なくない物づくりを意識している。フェルトで包みこんだり、硬すぎない材料で土台を作ったり、ボンドで張り付けるところは、極力縫い付けたり、試行錯誤しながら作っている。

Q、今後、こうなりたいというイメージはありますか？

- ・製造班のメンバーが増えれば嬉しい。裁縫、手編み、クッキー作り等が好きな人、また興味のある人は大歓迎！
- ・うたづええもん市のようなバザーが良い刺激になった。他店の商品や発想を知ることができたので。商品の勉強ができるのでこのようなバザーにもう少し参加したくなった。
- ・アイデアが思いつけば、雑貨のレパートリーを増やしたい。



### スタッフのつぶやき

精神保健福祉士 大塚 泰子

雑誌「こころの元気」1月号に精神科医療の未来が特集されていました。その中で「運動が精神疾患を改善する時代」と題しての記載が目に残りました。そこには、最近運動がさまざまな精神疾患に治療効果のあることが解ってきたこと、それを踏まえた診療ガイドラインの発表や日本うつ病学会のガイドラインの軽症うつ病患者に対する運動療法の記載されていました。また、この記載者は、他にヒップホップダンスを用いた課題達成の運動が気分の向上に有効であることも発表しており興味深く読みました。私も自身の経験から運動の効果について同じような事を感じていたからです。

私は、スポーツクラブに通い始めて4年になります。体力の保持と肥満防止を目的に家族から薦められて始めました。最初はあまり面白さを感ぜられずだらだらと続けていましたが、日がたつにつれ身体を動かす楽しさや、できなかったことが出来るようになるという小さな達成感を味わうことができ、最近では運動を楽しむようになりました。まかげで多少体力に自信がついてきましたし、我慢する気持ちも育ってきたように思います。今は疲れたりストレスが溜まったりすると運動で解消しています。運動をした後の身体の回復は同時に精神の回復を伴うのではないかと感じています。

しかし、ひとつ問題があります。運動は、強制されても続けることはできません。いくら治療効果があると言っても楽しくないと続けられないのです。まずは、好きな運動を習慣づけすることから始めればよいのではないかと思います。(運動はどんなものでもよいようです。)そして少し頑張れば達成できるような目標に挑戦すること、そこで成功体験をすると運動が習慣化されて楽しくなってくるこのようなサイクルが作れたらと思います。

たんぽぽの3階には運動器具が設置されています。この器具を利用する人が出てくるよう今後知恵を出していきたいと思います。



### クラブハウス in 善通寺

精神保健福祉士 三宅 春菜

私たちワンズハートクラブハウスは、1月11日に総本山善通寺へ初詣に行きました。現地集合のグループと、事業所集合でJRを利用しながら善通寺へ向かったグループに分かれ、それぞれに集合場所や時間、JRグループは電車やバスの時刻を照らし合わせながら計画しました。天気予報では当日は大寒波が来るため、とても寒くなると言われて心配していましたが、晴れ間もあり散策しやすい天気となりました。当日は、お守りを買いたい人や甘酒を飲みたい人など、それぞれにしたいことがあり、何度も集合、解散を繰り返しながらか楽しい初詣となりました。さらに、善通寺に詳しい方もいたため、詳しい解説付きの勉強になる善通寺ツアーとなりました。

クラブハウスメンバーは年齢の幅も広いので、できるだけ歩く時間は短い方がいいだろう、と配慮のある意見が出たり、自由に思い思いの過ごし方ができるのが、クラブハウスの外出の素敵なおところだと思います。また、普段は製造班と販売班に分かれて別々に活動しているたんぽぽですが、班の枠を超えた交流ができることも特徴のように思います。

私自身、クラブハウスは昨年の12月からの参加であり、どのような方向性でクラブハウスが出来上がっていくのか、現状や雰囲気を知るところからスタートしている状況ですが、新しいクラブハウスメンバーとして、歓迎していただいていると感じる場面が多くあり、これからの動きに心躍らせています。今後も、様々な活動報告ができれば嬉しく思います。

